

令和3年度第1回逗子市スポーツ推進審議会 議事概要

- 日時 2021年（令和3年）7月16日（金）15時00分～16時20分
- 場所 逗子市役所第5会議室
- 出席委員 會田勉、宮川光男、佐藤千香、阿部裕司、添木博（敬称略、順不同）
- 欠席委員 なし
- 事務局 大河内教育長、岩佐市民協働部長
文化スポーツ課：阿万野課長、土屋係長、藤村主事補

- 公開の有無 有
- 傍聴人の数 0人

■資料

事前配付資料

- 資料1 令和2年度逗子市スポーツ推進計画評価調書（案）
- 参考資料1 逗子市スポーツ推進審議会条例
- 参考資料2 令和元年度逗子市スポーツ推進計画評価調書
- 参考資料3 逗子市スポーツの祭典2020 事業実績報告書・アンケート集計結果
- 参考資料4 逗子市スポーツの祭典2020 チラシ
- 参考資料5 逗子市内 小学生のためのスポーツ団体一覧
- 参考資料6 うみかぜクラブ メニュー一覧
- 参考資料7 各種参考データ

当日配付資料

次第

名簿

- 資料2 令和3年度逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書（案）（抜粋）
- 参考資料8 令和2年度逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書（抜粋）

- 記録 藤村主事補 2021年（令和3年）7月26日（月）作成

任命式

委員の任命

教育長挨拶（挨拶後教育長、市民協働部長退席）

<開会>

事務局

本日は、委員数5名のうち5名の出席がある。「逗子市スポーツ推進審議会条例」第7条の規定により、会議が成立していることを報告する。

会長、副会長の互選

会長は宮川委員、副会長は阿部委員に決定

<議事>

事務局

「逗子市スポーツ推進審議会条例」第5条第3項に基づき進行は会長にお願いする。

会長

会長挨拶
委員自己紹介

事務局

資料の確認

会長

議題1の「令和2年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書について」事務局から説明をお願いする。

事務局

まずは様式の確認をしていただきたい。資料1をご覧いただきたい。平成28年度から本様式で調書を作成している。引き続きこの様式を用いてよいかご意見をお願いする。

会長

評価調書の様式については、引き続き昨年度の様式を用いることでよろしいか。

委員全員

異議なし

会長

それでは、引き続き昨年度の様式を用いることとする。
続いて、評価調書の内容について、事務局から説明をお願いする。

事務局

事業毎に説明する。資料1の1・2頁、参考資料3、4をご覧いただきたい。
(事業1「逗子市スポーツの祭典の開催」について説明)

会長

事業1「逗子市スポーツの祭典の開催」について、ご意見等あるか。
コロナ禍での開催は大変であったと思う。池子の森は遠いので実施場所として難しい面もあったと思うが、多くの参加があったことは素晴らしい。

佐藤委員

スポーツの祭典では実行委員としても関わらせていただいた。10月にコロナの合間をぬっての開催となったが、取り組めて良かったと思う。池子の森自然公園での開催に不安もあったが、皆さんに声がけいただき、ラグビークラブの子どもたち等十分な集客ができていた。また、障がいのある方もスポーツに触れる機会があったとあるが、障がい者と一般の方々のふれあいがあり、開催の規模は小さかったが、一般の方々が車いすの参加者を応援する等、関わりが持てたことが良かった。

会長

人数が多すぎないことでかえって交流がスムーズに行われたという面はある。

佐藤委員

キッズスポーツチャレンジ動画に参加いただいたお子さんが、後日恥ずかしがりながらも参加賞のTシャツを着てくれていた。喜んで参加してくれたことが感じられた。

会長

その他、ご意見等はないか。

添木委員

キッズスポーツチャレンジ動画も拝見させていただいた。オンラインを活用して、どこにいてもフルフルマラソンに参加したり、動画を視聴しながら体を動かす等、新しい運営の仕方を提案、実践していただいた。障がいの有無に関わらず、現地に行くことが難しい方々も参加できる良さがあった。

會田委員

令和2年度の行事は学校も同様であるが、前年度と比較しても仕方がないと思う。人数も少なくなるのは当然であるが、その中でオンライン、eスポーツ等色々な工夫をされていて驚いた。学校でもオンライン授業を実施しているが、オンラインで実施することで今まで気づかなかった良い点が多々出てきている。今回オンラインで開催したことで、気づいたメリット等をお聞きしたい。

事務局

今回初めての取り組みであった。動画に関しては再生回数にこだわるとするとあまり伸びなかったといえる。どこでもできるということ、また全てのイベントが中止となる中で出来ることを模索し、ラジオ体操、キッズスポーツチャレンジ動画、フルフルマラソン等を実施した。フルフルマラソンについては10日間エントリーする期間があったため、毎日エントリーする方もおり、今までは1日限りの開催であったが、オンラインで開催することで、新たな周知の仕組み、SNSを使った発信により新たな若い世代の参加につながった。

キッズスポーツチャレンジ動画については、コロナで自粛するなかで会えずにいる祖父母、親戚等がお孫さんの姿を見ることができ、また、幼稚園時代の友だちの成長した姿を見ることができた等のお声もいただいた。当初は想定していなかった人のつながりが生じていると思う。

會田委員

武道系の授業で動画配信を実施しているが、人前ではやりたくないという生徒も、一人だとしてできる等、配信の良さは、気づかない以上にあると思う。

会長

素晴らしい取り組みだと思う。

事務局

ラジオ体操の動画については、NHKの音源を手続を踏まずに使用したことで問題があり、現在は動画を削除している。初めての取り組みで知らなかったところではあるが、このようなことも今後の課題である。

会長

それでは、事務局には委員の意見を整理し、評価欄をまとめていただきたい。

次に、「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料1の3、4ページをご覧ください。

(事業2「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について説明)

会長

ご意見ををお願いします。

佐藤委員

小学生のためのスポーツ団体一覧について、スポーツの祭典が4月に行われていれば、ブースを設けて配布する予定であったが中止となってしまった。今年はスポーツの祭典でブースを設けて周知できると良い。

事務局

当初は4月29日にオリンピック・パラリンピックの機運醸成のため開催を予定しており、スポーツ団体一覧に記載されているチームにもブースを設け体験等していただく企画もあったが、緊急事態宣言等の影響で延期となった。10月開催時は規模縮小したこともあり、ブースでの展示は中止とさせていただいた。今年度については実施の方向で検討中である。本来新入生への周知も兼ね4月に配付していたが、休校の措置が解除された後の通常よりも遅い配付となった。

添木委員

未病センターのスポーツ健康相談について、参加人数は施設が休館していた関係で伸びなかったかもしれないが、それぞれ参加した方が自分の生活を振り返る良い機会になったのではないと思う。保健師等有資格者の方が丁寧に対応していると聞いている。昨今は予約制にはなっているが、気軽に相談できる体制がとられている。自分の生活を振り返る良い機会になっている。今後も継続していただきたい。

事務局

市役所内の未病センターの利用者にアリーナを紹介させていただいている。いずれも予約制ではあるが、未病センター同士の連携はできている。市内サロン等において、国保健康課の保健師と逗子アリーナの健康運動指導士による出前講座等の事業も今年度は企画している。

佐藤委員

スポーツ推進委員でも取り組んでいるボッチャについて、体験してみたいという声は多く聞かすが、この状況下で難しいところである。以前は学校等で体験していただく機会があった。コロナが落ち着いた際にボッチャの体験の機会を設けたい。

会長

次に、「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料1の5、6ページをご覧いただきたい。

(事業3「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」について説明)

会長

ご意見を願います。

添木委員

学校支援地域本部とは何か説明をお願いします。

事務局

教育委員会の学校支援地域本部事業において、地域のOB、指導者等の派遣に対する謝礼金等を予算化している。学校の先生のみでの部活動指導は限界があるため、外部からのサポートを得ながら部活動等を実施しているという事業である。

添木委員

基本の知識をもった方々がいるというのは学校にとっても新しい風が入ってきて良いことだと思う。資料5にあるスポーツ団体からも指導者が派遣されているケースはあるのか。

事務局

学校とのつながりの中で実施していると聞いているが、阿部委員に補足いただきたい。

阿部委員

学校でつながりのある方に声をかけているが、その方がスポーツ団体の指導者である可能性はある。

添木委員

いずれにしても、教育現場に新しい風が吹くきっかけになる良い事業だと思う。4年生の授業でボッチャ取り上げていただいたことについては、若年層に学校を起点として、新しい種目を体験する機会ができ良かったと思う。

阿部委員

昨年、小坪小学校でボッチャを体験させていただいた。体験する際に視覚障害のあるかたも来られ一緒に体験することができた。子どもたちは総合学習の中で視覚障害の方が参加する際にどのような事ができるか工夫をしながら非常に良い活動となった。出来れば、一回きりの開催ではなく、続けて体験できるとなお良い。地元ラグビーの元日本代表選手がおり、指導をしてくれる話もあったが、実施に至らなかった。そのような選手が来て一緒に体験できることで、一気にそのスポーツへの関心が高まるのではないかと思う。

小学生のためのスポーツ団体一覧について、興味はあっても実際に体験するまでに至っていない子どもたちも多い。スポーツの祭典でブースを設けて気軽に体験できると、スポーツを始めるきっかけになると思う。そういった機会が更に増えると良い。

会長

主宰する少年野球のチームでは体験の問合せが増えている。コロナ禍で子どもたちが家にいる時間が増え、親も危機感を覚えていると思う。今年は年中の幼稚園児が初めて

入団した。指導者も大変ではあるが、スポーツ少年団としては幼稚園児も受け入れていく予定である。この経験を大切に、遊びも交えながら野球を指導している。スポーツ団体一覧の配布は素晴らしい事業であると思う。

會田委員

学校現場での大きな問題の一つは部活動の指導者がいないということである。昔は部の顧問が生徒と一緒に活動し、次第に指導者になるというイメージであったが、今の若い教師の方々は、専門ではないということで担当しつがらない人が多い。これからの部活動は地域の方が指導者になり、少なくとも週に1、2回適切な助言をしたり、練習メニューを教える等、必ず必要な時期が来ると思う。逗子市が色々な形で指導者を派遣をされているのは、そのような状況を先取りしている部分もあるのではないかと思う。是非小中学校に限らず、高校にも力を貸していただきたい。これから部活動を維持していくのは大変難しくなってくる。働き方改革もあり教員が土日に出勤するのは当たり前ではなくなり、部活の維持は地域の力が必要になってくる。

会長

次に「うみかぜクラブの活動内容の充実」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料1の7、8ページをご覧ください。

(事業4「うみかぜクラブの活動内容の充実」について説明)

会長

ご意見ををお願いします。

佐藤委員

コロナの影響で体育館が利用できず、うみかぜクラブについても4月は厳しい状況であった。高齢者が減少していたが、ワクチン接種が進み戻ってきている。前年度は事業を実施したとしても高齢者の参加者は少なかった。ボッチャの参加者についても関係者がほとんどであった。前年度は大人向けであったが、今年度は子ども向けを開催し好評である。運動系だけではなく、筆習い等の文化系のメニューも取り入れ参加者がコンスタントに増えている。厳しい状況の中でよく持ちこたえている。神奈川県内の地域型スポーツクラブの中でも、ここまでメニューを広げて実施しているところは無いと聞いている。参加者数に応じてメニューを変更、または新メニューを考えながら実施しており、逗子の高齢者の健康に貢献している。このような運動をできる場があるのはとても良いと思う。

添木委員

コロナの関係で多くの総合型地域スポーツクラブが縮小して活動が制限されている中、うみかぜクラブは非常に積極的に事業展開している。メニューの見直しをしながら、しかも経営の自立化もできている。自立化はある程度事業の規模数がないと難しいが、上手くバランスをとりながら運営できている。コロナの影響で高齢者の登録者数が減ってはいるものの、それでも500人近い会員がいるというのは、これまで地域に根差して活動してきた結果だと思う。この先、日本全体を見ても高齢者社会で子どもは減っていく

中、一人一人の満足度も指標の一つとして、うまく評価の中に取り入れながら事業展開するのも大切なのではないかと思う。難しいところではあるが、コロナに配慮しつつ規模を上手くコントロールしながら事業を展開できると良いのではないかと思う。

会長

事務局は、いただいた意見を基に、評価調書の審議会での意見の欄をまとめてください。今後の流れについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

本日のご意見を整理し、評価調書を次回（第2回）会議までにまとめ、次回その案についてご意見をいただく。後日、各委員にメールにて最終案を確認していただき、確定し次第、教育長に事務局から報告させていただく。

会長

次に、議題2の「令和3年度逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書に関する意見聴取について」事務局から説明をお願いします。

事務局

資料2及び参考資料8をご覧ください。

逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書には、逗子市総合計画実施計画の目標と、それに対しての昨年度の取組みを記載している。

スポーツに関しては3事業が対象となっており、これらの自己評価に対する意見をお願いします。

点検・評価に関する報告書は、例年は9月中に提出していたが、今年度は8月上旬には教育委員会に提出することとなった。教育委員会10月定例会において承認を得た後、令和3年市議会第4回定例会で報告する予定である。

（令和2年度の実績を読み上げ）

詳細についてはスポーツ推進計画の評価調書での説明と重複するところが多いことから割愛させていただく。本日評価調書の方でいただいたご意見を点検評価シートに反映させていただきたい。

会長

事務局は、いただいた意見を基に、外部有識者の意見、今後の課題を作成していただきたい。続いて、今後の流れについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

本日のご意見を基に、令和3年度逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書の外部有識者の意見の加筆修正をし、最終確認は会長一任で確定させていただきたい。その後、教育委員会に報告させていただきたい。

会長

そのように対応してよろしいか。

委員全員

異議なし

事務局

次回の会議において、令和元年度スポーツ推進計画評価調書の審議会意見のとりまとめを確定する予定であるが、コロナ渦において書面開催という実施も可能である。皆様のご意見を願います。

会長

書面開催としてよろしいか。

委員全員

異議なし

事務局

令和3年度のスポーツ推進事業についてご説明させていただく。スポーツの祭典 2021 については10月17日(日)に開催する予定である。当初、市民まつりと同時開催を予定したが、市民まつりが中止となりスポーツの祭典単独での開催となる。

昨年度の第68回市内一周駅伝競走大会は中止としたが、第69回については来年1月9日(日)に開催を予定している。コロナ感染対策を講じて実施するに当たりチーム数の削減を検討している。後日改めてご案内させていただく。

会長

その他、ご意見等あるか。なければ事務局へ進行をお返りする。

<閉会>

事務局

本日の議事は終了した。以上で「令和3年度第1回逗子市スポーツ推進審議会」を閉会する。